

HOIKU ほういく静岡 SHIZUOKA

発行 静岡県保育所連合会 hoiku-shizuoka.org

75
2015年1月号



- 2.年始のあいさつ
- 4.民間園長研修会
- 5.育児相談研修会
- 6.海外交流研修会
- 8.ぶらんこ・園紹介

- 11.児童家庭支援センターはるかぜ
- 12.関東ブロック保育研究大会
- 13.法人税課税回避の要望活動
- 14.各支部だより
- 15.専門委員会報告

📷 写真提供：浜松市 入野保育園

年頭所感



静岡県保育所連合会会長

後藤 弘明

新年 明けましておめでとうございます。
旧年中は、県保育所連合会の各事業につきまして、皆様のご理解ご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、子育て支援法による新たな保育・教育制度がこの春よりスタートいたします。しかし、社会保障のための消費税率5%UPの10%は一年半後に延期されました。ただでさえ、国がこの保育制度の改革の理念に掲げております「質の高い保育の提供」と「すべての子どもの最善の利益の保障」のための財源としては、子育て支援に充当される額は足りていないのが実情です。四月からの新制度における公定価格がどうなるのか、市町の財政状況も様々なことから心配しているところでもあります。

また、それまでの保育入所要件である「保育に欠ける」から「保育を必要とする」要件の変更に伴い、保育園希望者が増えることが予想されますが、各基礎自治体が策定する子育て支援計画は、需要より供給が上回るよう計画しなければなりません。国が二十九年度までに目指す、待機児童を解消するため四〇万人の受け皿づくりと並行して、保育施設の増加がどうなるのか、保育士不足に一層拍車がかかるのではと考えてしまいます。受け皿確保のために保育所としての施設・設備などの外的条件や、保育にあたる人材などの内的条件を下げた形で新規施設が増えることが無ければよいがと思わずにはいられません。

子どもの権利条約の第三条に子どもの最善の利益について記されていますが、子どもの権利条約は、四つの柱、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」で構成されています。日々の保育や家庭での生活の中で、身近な大人たちがこれらのことを具体的に守ってあげられることが大切と感じます。これらのことが当たり前に振る舞えるようになるれば、虐待やいじめはなくなります。できるのではと希望してやみません。ちなみに、児童作家であるミヒヤエル・エンデは、「希望とは、これはうまくいくと事態を楽観視することではなく、希望とは、このことには意味があると確信できること」と言っています。

四月からの新制度において、希望を持って

保育ができることを願って、保育所連合会の活動を進めていきたいと思っていますので、皆様方のご理解、ご協力をよろしく願います。

表彰

おめでとございます

平成二十六年度に、県内保育園関係者で上部団体等から表彰を受けられた方々は次のとおりです。

皆様の長年にわたる児童福祉へのご貢献ご功績が認められたものであり心からお喜び申し上げます。

感謝と敬意を表しますとともに、これからも益々ご活躍されますことを祈念いたします。

◆全国保育協議会会長表彰

石神 登貴子

焼津市 ふたば保育園長

桑山 佐喜子

静岡市 みどりが丘保育園長

渥美 範子

静岡市 こすもす保育園長

◆日本保育協会表彰

※永年勤続表彰（所長）

櫻井 惟代

静岡市 麻華保育園長

新年の御挨拶



静岡県健康福祉部こども未来局長

萩原綾子

新年明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様の御健康と御繁栄を心からお祝い申し上げます。平成二十七年の年頭に当たり、改めて日頃の保育行政への御理解と御協力に感謝申し上げますとともに新年の御挨拶を述べさせていただきます。

近年の保育需要は、女性の社会進出や働き方の変化に伴い、全国的に増え続けています。県内の保育所入所児童数も、過去最高水準の五万三千人を超える状況が続いております。

さらに、県内の家庭の約六割が共働きであることや、核家族化や地域のつながりの希薄化による子育て力の低下、保護者のニーズの多様化などに伴い、子どもの成長や親の子育てを支える保育所は、地域で最も身近な子育てを支援する施設として、子育て家庭にとって欠かせない存在となっております。

こうした中、県では昨年度から「子育ては尊い仕事」の理念を広め、「子育て」が社会的に評価される仕組みづくりを進めております。子育てママの保育士資格取得を応援する子育てしながら資格を目指すチャレンジ応援事業や、地域子育て支援センターを会場に母親力を子育て支援や商品づくりに活かす取組は、本年度、皆様の多大な御協力をいただき全ての市町で展開することができました。改めてましてこの場をお借りし感謝申し上げます。

皆様も御存知のとおり、本年四月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、就学前の子どもたちを巡る環境が大きく変わります。

現在、県では市町の子ども・子育て支援計画を着実に推進するための支援計画である「ふじさんつこ応援プラン」の策定を進めております。新制度では、利用要件の緩和などにより、保育所の利用を希望する児童が大幅に増加することが予測されますことから、保育所の施設整備などを促進し、今後五年間で約二万人分の利用定員の増加を図ることとしております。

「子育ては尊い仕事」の理念の下、保育所をはじめ、関係の皆様との御協力をいただきまして、市町と連携してこの応援プランを着実に推進し、「生んでよし 育ててよし」のふじのくにを目指してまいる所存であります。保育所を取り巻く環境は大きく変化しようとしていますが、常に子どもたちを中心に捉

白井 豊子

静岡市 セイウウ保育園長

※永年勤続表彰（職員）

桑原 陽子

静岡市 いけがや保育園

小田巻 朋子

静岡市 いさみ保育園

佐野 静子

静岡市 こぼと保育園

小澤 智代美

静岡市 こぼと保育園

堀内 千代子

菊川市 双葉保育園

滝口 佳代

菊川市 愛育保育園

◆全国私立保育園連盟表彰

※保育功労賞

中村 くんに子

浜松市 入野保育園副園長

辻 秀道

富士市 愛生保育園長

大石 眞理子

静岡市 こぼと保育園長

え、子どもの最善の利益のために質の高い保育が確保されるよう、皆様におかれましては、引き続きの御尽力をお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の御健勝と御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

「平成26年度 民間園長研修会」

今年度の研修会は十月三十日～三十一日にかけて浜松市のオークラアクトシティホテル浜松にて、例年より多い二百四名の参加者を迎え、今年度も「夢と希望を持てる保育園経営とは」民間保育園長の資質向上を目指す」というテーマで開催されました。

「子どもの生活環境とともに子育ての環境も大きく変化し、子育て支援に対する保育園の役割はますます深化・拡大している。全ての子どもに質の高い幼児教育・保育を保障するために民間保育園長の果たすべき役割を再認識し、その責務を適切に発揮することを目的に本研修会を開催し研鑽を深めるものとする」を目的とした研修会でした。



一日目の講義①は静岡県健康福祉部こども未来課長 河森佳奈子氏の講義。テーマは「保育行政の動向について」改めて子ども・子育て支援新制度の概要をお話いただき、静岡県として「産んでよし、育ててよし」の「子育て理想郷」ふじのくに」づくりに取り組んでいく意志が感じられました。保育士不足の問題についても静岡県・静岡市保育士・保育所支援センターの発足などで対策しているという説明がありました。



講義②はリスクウォッチ代表 長谷川祐子氏による「子どものためのアメリカ式危機管理教育」でした。アメリカ式の特徴は、住人に力をつけることを重視している。それは、子どものところから自分で自分の身を守る情報を教えるというもので、子ども自身の災害への意識付けも、日本と違いがあることを感じ

ました。また、実際の動きなども実演し、教えていただきました。静岡の消防学校で指導しておられるそうで、地域の防災にも浸透していると思われます。

二日目の講義③は、はままつフラワーパーク理事長の塚本こなみ氏による「心根を育てる」でした。樹木匠としての活動、あしかが・はままつ両フラワーパークでの改革、そしてご自身の子育て。様々なお話をお聞かせいただきました。フラワーパークの改革の中で、「我が園は何を目指すのか・方向性を明確に示す」という言葉がありました。新制度を迎え、今後の園の運営にも通じるものがあります。そして演題にもある「心根」という言葉。

「木が育つには、土壌という環境で根を育てることが大切・子どもが育つには、家庭という環境で心を育てることが大切」心も根も普段は見えないものです。そこが大切と改めて教えていただきました。



色とりどり、幻想的な花や樹木は感動を与えてくれます。研修会での映像だけでなく、ぜひ本物にふれてみたいと思いました。以上、充実した研修と各園同士の交流を深めることができた二日間でした。

育児相談研修会

期日 東部 平成二十六年 十一月 五日

中部 平成二十六年 十一月二十六日

西部 平成二十六年 十一月 十九日

会場 東部 沼津市民文化センター

中部 山口駅前ビル

西部 浜松市勤労会館

テーマ

「保護者の心を開く育児相談」

講師 浜松学院大学短期大学部

名誉教授 福永博文氏



保育所連合会主催の育児相談研修会が、東部・中部・西部の三会場で今年も行なわれました。

相談業務に必要な専門知識や技術を習得させ、その資質向上を図ることを目的とし、浜松学院大学短期大学部・名誉教授の福永博文先生に講義をお願いしました。

ご自身の経歴や体験話からスタートしました。現在の保護者や子どもの様相から「保護者からの相談に応じること」が必要になってきています。



保護者が心を開いて相談してくれないのはなぜか？それを保護者のせいにするのではなく、保育者が「なぜ私に心を開いてくれないのか？」と自分に問いたです事が必要になってきます。

それには、保育の専門性が問われてきます。知識・技術・支援はもちろんの事、社会に保育園の存在を知ってもらわなければなりません。保護者にとって信頼できる保育所のあり方や保護者が心を開いて相談できる関係を作っていく必要があります。

保護者とよりよい関係を築くために必要な態度を学びました。事例を元に母親への対応や相談についての解決法を教えて頂きました。

午後は三人一組で保護者・保育者・観察者に分かれ、いくつかの事例についてのコミュニケーションを行い、福永先生に対応の仕方を伝授してもらいました。

時代と共に子どもも保護者も変化していく中で、私たちはそれに対応していかなければなりません。子どもや保護者にとって一生に一度しかない今を大切にし向き合っていく必要があります。

本日の福永先生のお話は私たち保育者の心に響いたものになりました。



研修に参加して

緑ヶ丘保育園

保育士 小永井麻帆

山本奈津美

ECDA（未就学児・早期教育庁）ではシンガポールが抱えている少子化問題について、解消すべく掲げている政策を教えて頂き、シンガポールについてより密に知ることが出来ました。日本でも抱えている少子化問題ですが、子どもの時に良い教育を受けることがより良い大人になるということ、子どもの成長の仕方は一人一人違いそれぞれ自分に合った保育所を両親が選べた方が良いことを掲げ、母親だけが子を育てるのではなく父親・祖父母の協力、保育所との連携、両親が務める職場の理解を得て社会全体で子育てが出来よう補助金を出したり、保育士のイメージアップにも努めていることを知ることが出来ました。

シンガポールでは様々な国の人々が住み、それぞれの文化がありそれぞれを尊重し合って成り立っている国であることを感じる場面がたくさん見られました。

様々な文化に触れることが出来、毎日が新鮮で刺激的でしたが、改めて日本の素晴らしさや有難さを強く感じることも出来ました。この研修で感じたことから自分自身の保育を見つめ直し、子ども達の笑顔がたくさん見られるような、より良い保育を目指していけたらと改めて思いました。海外交流研修に参加させて頂き本当に有難うございました。



野菜中心の給食



第19回

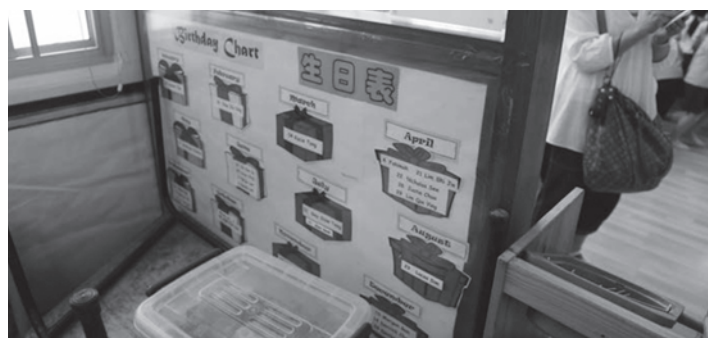
保育所職員
海外交流研修会

シンガポール研

11月19日、朝夕の寒気が身にしみ追々寒さに向かう日本から、年間を通して暖かい気候のシンガポールへと旅立ちました。熱帯特有のスコールが降ることもありましたが、天候にも恵まれ道路の脇には大きな樹木が立ち並び自然が多く日本とは違う景色に胸が高鳴りました。

視察先は2ヶ所。一つ目の視察先であるALPHABET PLAYHOUSE CHILD CARE & LEARNING CENTERは富裕層の子どもが通う園で、子ども達が作った作品が部屋や廊下の壁などに所せましと飾られ、カリキュラムに沿って1日の流れが決められていました。ダンス・サッカー・ジャングルジム・音楽は講師を呼び教えているそうで、子ども達は椅子に座り話を聞いていました。

もうひとつの視察先であるPUTI CHILR CARE CENTERは公団住宅に住む子どもが通う園で、登園時に体温を測り、手・足・口のチェックなど健康検査を毎日行っているそうです。壁の無い部屋にビニールテープで線を引いて学年ごとに過ごし、玩具や絵本が子ども達の手の届く所に置いてあり遊びが充実していました。又、子どもたちが床に座り過ごす様子がほのぼのしていました。両園の保育内容が違い、とても興味深い視察となりました。



動物の生態

清水町 しいの木保育園 園長 名倉 義夫



清水町は、伊豆半島の付け根に位置する温暖な地域で、静岡県東部の中で年々人口が増加している数少ない市町の一つです。町の中心地域を湧水で知られる柿田川が流れ、西に沼津市、東に三島市

があり、これら人口密集地への交通の便が良いこともあってベッドタウンとして機能し発展している町です。
清水町での初めての私立保育園として平成十八年二月に法人格を取得し設立、四月に開園となり、今年で九年目を迎えました。定員九〇名から現在は一〇〇名に、保育園としては新しいですが、急速な定員増加にみられるとおり地域に求められ進化しています。



縁あってこの道を進まれたご夫婦の門出は、正にゼロスタート。そんな中にも力強い先生方のご助言を背に受け、職員と一丸となり同じ目的に向かって歩いてきた道は、強風と荒波にもまれながらの九年間だったそうです。勿論、夫婦喧嘩もしばしばだったと……

「共生と貢献 よく食べ、よく生き、まっすぐな心で輝け 瞳！」の保育理念のもと、食育に重きを置き、主食は玄米を使い、隣の畑では、クッキングに合わせて野菜を栽培・収穫し、子ども達に基本的で大切な食に対する意識や知識を育てています。また、毎月お茶会を開催したり、地域の方の協力でお習字、

近隣中学校の家庭科授業の一環として、参加している中学生との保育体験受け入れ等先を見据えてのマナーや交流も深めています。丁度、訪問させていた

いた日もお茶会の日で、園長先生自ら和服を着て、一席を終えたところでした。

又、核家族化に伴い、伝承料理も衰退する昨今から、毎年十二月には食育祭りをを行い、子ども達と職員とで餅や芋煮などを作り、振る舞っています。正に一つの大きな家族の、笑顔溢れる景色が見えるようです。この様に食に対して色々な方向から目を向かせ、一貫した食育によって体・知識・心を育て、子ども達に《生きる力》を身につけてもらいたいという想いが日々の保育に表れているように感じました。

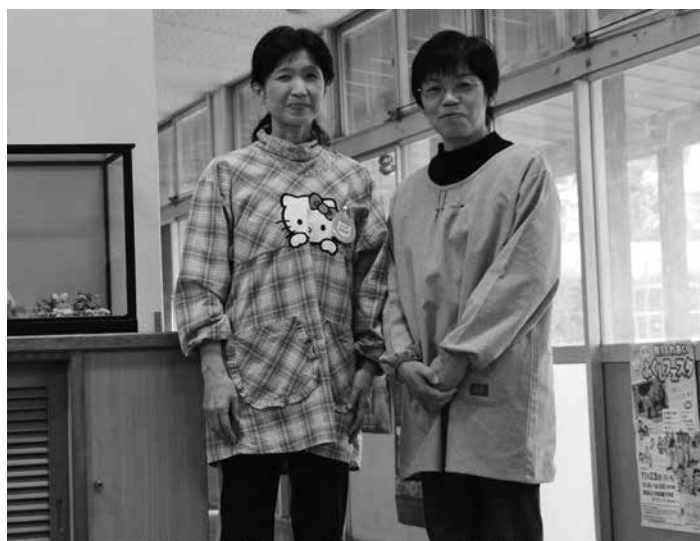


施設長はモノ作りが得意で、お手製の保育用品が活躍していました。例えば、乳児室の仕切り板等、子どもの行動、職員の動きから板の取り扱いにも配慮され、日々の保育生活に即して今

も尚進化し続け、利便性に優れているだけでなく、思いやりに溢れているものでした。子ども達の楽しそうな遊び声を遠くに、しいの木保育園を後にしました。
お忙しい時期に快くお迎えして下さいました、施設長先生、園長先生をはじめ職員の皆様本当にありがとうございました。

静岡市立 東豊田保育園 園長 大原 淑子

今回、取材で訪問させていただいた静岡市立東豊田保育園は、静岡市駿河区国吉田にあり、西に静岡市中心部を見下ろし、東に富士山を臨む高台にあります。入所定員は百四十五名となっており、古くはこの地区にある造幣局に勤める職員の子どもたちを預かる保育園だったそうです。昭和四十六年に静岡市の公立保育園として認可を受け開園をしました。現在の園舎は昭和五十四年に建て替えられたものだということです。



大原園長先生（右）と子育て支援の飯田先生

また、園舎が高台にあるということで日当たりもよく、周囲には茶畑が多く、お天気の良い日には茶畑の中を散歩したり、昔はお茶の実を拾ったり、かくれんぼをしたりするのが子どもたちの楽しみの一つだったそうです。

そして東豊田保育園には平成十三年より子育て支援の拠点として地域子育て支援センターが併設されています。センターを担当しているのは飯田直美先生。毎週月曜日から金曜日まで開所しており、一日当たり十組以上の親子が利用しています。センターでは室内遊び・園庭での戸外遊び・保護者からの育児相談等がおこなわれています。月に二回のおしゃべりサロンでは離乳食のお話、チャイルドシートのお話、ミニコンサート、人形劇等も開催されています。なかでも実演を行っているベビーマッサージは保護者に大人気で「子どもたちがマッサージで気持ちよくなりニコニコと笑顔になるとそれが保護者に繋がっていくんですよ」と飯田先生。取材にお伺いした日は天気があまり良くなく肌寒い日でしたが、早い時間から園庭で遊ぶ親子連れが何組かいました。またお昼前にはセンターの中で大勢の親子が曲に合わせてみんなダンスを踊っており、とても活気があるように感じられました。

そして静岡市と言えば平成二十七年度よりこども子育て新制度が始まる中で、市内の公立保育園全園が「幼保連携型認定こども園」に移行することが決まっています。移行について大原園長先生にお聞きしたところ、研修会に参加したり、教育保育要領の読み合わせを園内研修に取り入れ、職員とともに準備を進めているということでした。

今回はお忙しい中、快く取材に応じてくださった大原園長先生、飯田先生をはじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。



袋井市 ルンビニ第二保育園 園長 乗松久実子

今回の西部地区「ぶらんこ」の訪問先は、袋井市浅羽にあります、社会福祉法人三宝会のルンビニ第二保育園に伺いました。袋井駅から南に車で約十分の所に位置する保育園です。当日は快晴で、正門を入ると年長の皆が元気いっぱい園庭で、仲良くボール遊びを楽しんでいました。

年末のお忙しい時期にもかかわらず、乗松園長先生をはじめ、職員の皆さん、そして子どもたちが、笑顔で快く広報委員の私たちを迎えてくださいました。ルンビニ第二保育園は平成二十年四月に九十名定員で開園されました。現在は百七名の園児が通っています。



保育園の基本理念は、「大慈愛心」を育むために、お釈迦様の教え「仏教」を基本理念として保育を行っています。保育

園名の「ルンビニ」という名前も「お釈迦様誕生」の地名をいただき、ここで保育される子どもが「みほとけの子」として元気でよい子に成長するように」と願いを込められてつけられた名前です。

仏教保育を基本理念に置く、ルンビニ第二保育園では毎年四月、入園進級式に合わせてお花まつりを行います。保護者の方と子どもとの健やかな成長を願う新年度のスタートとなります。また、十二月に行われる「成道会」について紹介します。「成道会」は毎年十二月八日のお釈迦様がお悟りになられた日に行われます。この日はお釈迦様の周りにお灯明とご家庭から持ってきていただく一人一輪のお花を供え、全園児手を合



わせてお参りをします。園長先生は「子ども一人一人が手を合わせ、心を静めお参りすることはとても良い習慣です」と話してくれました。

その他にも、お遊戯会など数多くの行事が行われています。園長先生に行事の考え方を伺ったところ「私たちは運動会等を行事としてとらえるのではなく、子どもの経験・体験としてとらえ、当日までの過程をととても大切にしています。子どもたちはその体験・経験を通して成長します。行事の考え方を保護者等に披露するためだけに行うのか、子どもの成長に向き合い、保育者と一緒になって喜びを共有しながら行うかでは、同じ行事でも全く別の取り組みになるのではないでしょう」とお話をいただきました。園長先生のお話をお伺いし、耳が痛い思いと同時に、行事の在り方を改めて考えなければと感じました。

お話の後、保育室の様子を見学させていただきました。園長先生のお話通り、保育者が子どもに丁寧な接する姿や、子ども一人ひとりの成長に向きあい、子どもの思いに寄り添った信頼しあう姿はとても微笑ましく、また、暖かな気持ちになりました。保育者の穏やかな関わりから、園全体の雰囲気の良い感じが感じ



取れました。最後に今回、快く取材にご協力いただきました、園長先生をはじめ職員の方々、紙面を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

「ご家庭の子育ての不安にお応えする

児童家庭支援センター「はるかぜ」

児童家庭支援センター「はるかぜ」をご存知ですか。

児童家庭支援センターは保育所と同じく、厚生労働省より設置認可を受けた、第二種社会福祉事業を運営する児童福祉施設です。「はるかぜ」は昨年度、社会福祉法人春風寮により静岡県焼津市内に設置されました。設置から約一年半、多くの皆様にご利用いただいております。

昨今、児童福祉の状況は、急増する児童虐待の対応に追われてきました。しかしながら児童虐待の多くは、保護者の子育ての不安や未熟さからくるものであり、専門的な見地からきちんとこれらに対応することが重要であります。子育て相談に関しては一歳半、三歳健診時には保健センターの保健師が適切な診断や指導をすることができそうですが、その後就学までは保育士がその最先端にあつて日々苦勞なさっているのが現状です。特に、子どもの問題を早めに解決しようと考えても、保護者とのコミュニケーションに悩まれる保育士さんが多いと聞いております。

子どもと保護者を一体とした子育て相談には、以前は児童相談所が相談にのってきましたが、増加する児童虐待に追われ、市町にその対応を委ねてきました。児童家庭支援セン

ターは、これを補完するため平成九年に児童福祉法を改正してできた相談機関です。児童相談員と心理士が協働して、電話、来所、訪問等適宜適切に対応をしております。相談機関のチャネルは多いに越したことはありません。しかし、そのほとんどが行政機関によるものである中で、民間の社会福祉法人が運営しているのが特徴の一つです。もちろん国の事業ですから、相談は無料です。

昨年一年間では、二百四十二件、延べ七百二十九件の相談に対応してきましたが、そのうち約六割が保育園、幼稚園、小学校からの子育て相談でした。その大部分が保育園の先生からの相談で、おおむね子どもたちの発達や保護者の養育態度に関するものでした。

このように、開設以来「はるかぜ」は児童養護施設「春風寮」の一角で、焼津市をはじめ近隣の地域・家庭からの相談にお応えしてきましたが、現在、独立した建物を建設しております。ここには相談室、プレイルーム、児童観察室などを備え、四月一日からはより充実した児童家庭支援センターとして機能できるよう努力してまいります。ぜひご利用ください。



関東ブロック保育研究大会

怒涛の十分、子育てプロローグ

名倉 喜美江

真夏日、会場に流れるせせらぎと小鳥のさえずり。楚々とした和服姿に（おもてなしの心）を一碗の茶に託し、舞台中央にて一礼。スクリーンに静岡名物等がフラッシュバックされ、次いで十人のチャッキリ娘が農兵節を踊る。その間にふじっぴーと家康くんが登場、横断幕を皆で掲げて、会長挨拶で締め括り、次回開催地アピールとしての一〇分は終了しました。

県内の精鋭陣が山梨に会しての一時は、（静岡大会を成功させたい）思いが重なった熱い時間となりました。

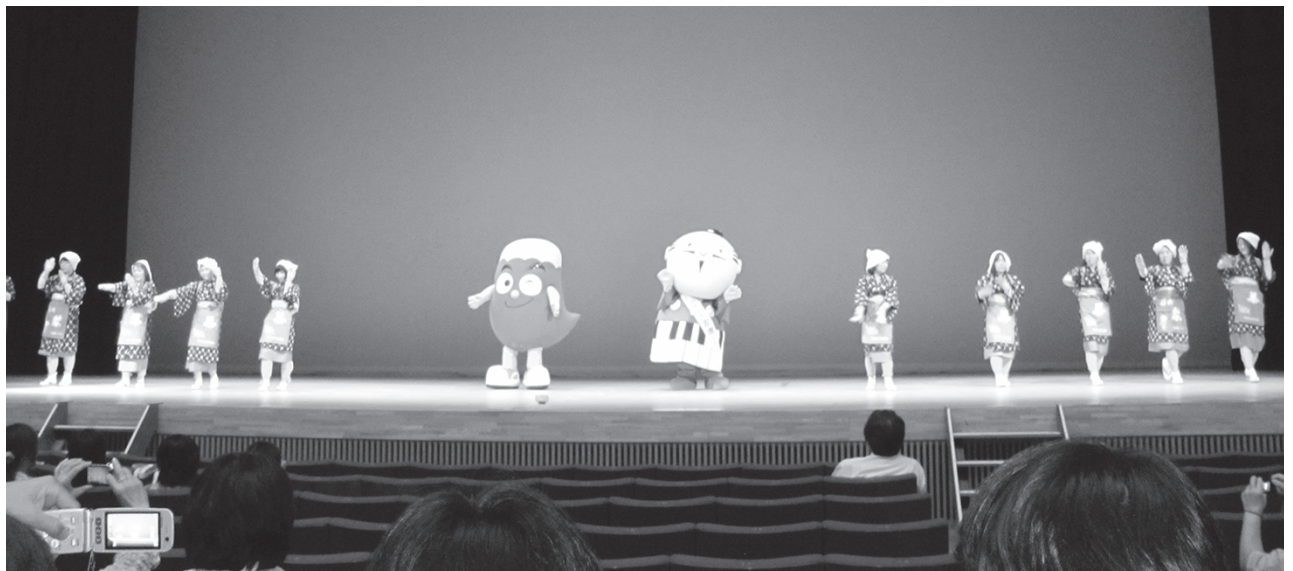
「気持ちが進まないから」と茶碗にお茶を注ぎ、繰り返し歩く姿に力強く後押しされ、当日に農兵節を踊る事を告げられたチャッキリ娘の皆様は、狭い楽屋や廊下で休みなく練習され、その姿にも敬服でした。又、愛くるしい着ぐるみの中は過酷、三〇分が限界の中を汗を流しながら頑張って下さいました。

笑顔に満ちた家庭と、それを支える社会、未来を担う大切な子ども達の為にと頑張る姿は優しさに溢れ、心地良い疲労感は、感謝と感動に包まれました。

時は流れ、益々デジタル化された中にある私達ですが、人はいいつも何事も心次第、心の優しさが大切と改めて実感致しました。



きつと、この静岡の地から（いい子が、いっぱい育つ）はず！
静岡から日本全土へ、そして世界へと発信！



社会福祉法人への法人税課税回避の要望活動

一、要望活動先

(一) 総務副大臣 上川陽子 衆議院議員

(静岡第一区 自由民主党)

平成二十六年八月二十五日(月)

午前十時五十分から十一時三十分

参加者 神野副会長、岡田副会長、下

原副会長、鈴木事務局長

(二) 塩谷立 衆議院議員(静岡第八区 自

由民主党) *山田泰志 秘書 対応

平成二十六年八月三十一日(日)

午後一時から一時三十分

参加者 岡田副会長、下原副会長、鈴

木事務局長

二、活動内容

次のような要望書を手渡しして、社会福祉法人制度、営利法人と社会福祉法人が行う保育事業の相違、地域における保育園の役割等について説明し、理解を得た。

「社会福祉法人に対する法人税課税回避について(要望)」

保育事業について

少子化を克服するためには、地域における保育・子育て支援の環境の充実・強化が極めて重要であり、その中心的役割を担う社会福祉法人への法人税課税につ

いては、与党として回避されますよう次のとおり強くお願いいたします。

経営主体間のイコールフットイングの観点から、規制改革会議において社会貢献の義務化が提言されるなど、社会福祉法人制度の在り方そのものにかかわる指摘がなされています。

一方、政府税制調査会では、法人税改革の議論において、法人課税ベースの拡大として、公益法人等の範囲や収益事業の範囲に関する見直しの検討がなされています。その中で、社会福祉分野に対して、多様な主体の参入が認められている高齢者介護事業や保育事業について、「経営形態間での公平性の確保」の観点から、社会福祉法人が実施する場合の当該事業への課税化が検討されているところだ

す。そもそも、社会福祉法人は、社会福祉事業を主たる事業とする非営利法人として、公共の精神の下に我が国の社会福祉の基盤を形成し、その利益は出資者に分配したり、福祉事業以外に充当してはならないとされています。さらに、法人設立時の寄付者の持分は認められず、法人の解散時には残余財産は最終的には国庫に帰属するなど、強い制約の下に国民に安定的な福祉を提供する仕組みとさ

れております。

ことに民間立保育所は、公費による保育所運営費収入で成り立っているとともに、その約九割が社会福祉法人立であり、かつ、その多くが小規模な法人となっています。また、社会福祉法人の実施する保育事業から生じた収益は、地域の子育て支援等の少子化対策に直接的に活用することが国民にとって有益です。

その観点から言えば、社会福祉法人に対する法人税課税は到底容認出来るものではなく、ましてや、法人税率の引き下げのために、子どもの健やかな育ちの環境を犠牲にするようなことは看過できません。

※レイアウトの都合上一部割愛しております。

社会福祉法人 日本保育協会

理事長 大谷泰夫

社会福祉法人

全国社会福祉協議会全国保育協議会

会長 万田康

公益社団法人 全国私立保育園連盟

会長 近藤適

静岡県保育所連合会

会長 後藤弘明

衆議院議員 上川陽子先生

衆議院議員 塩谷立先生

各支部だより

東部支部

支部長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

一、総会及び施設長研修会

期日 平成二十六年五月十五日（木）

場所 沼津市民文化センター 大会議室

講師 静岡便教会会長

（富士市立高等学校教諭） 柿島由和 氏

演題 「便器磨きは心磨き」

二、中堅保育者研修会

期日 平成二十六年八月二十七日・二十八日

場所 三島市箱根の里少年自然の家

三、保育の日研修会

期日 平成二十六年十月四日（土）

場所 伊東市観光会館

講師 辻井いつ子 氏

四、民間部会県外施設視察研修

期日 平成二十七年一月二十八・二十九日

視察先 マーヤ敬愛保育園（大阪府吹田市）

五、行政部会研修

期日 平成二十六年十二月十二日（金）

場所 清水町役場

六、青年部会研修

期日 平成二十七年二月二十八日（土）

場所 沼津市民文化センター

七、新規採用予定職員研修会

期日 平成二十七年二月二十四・二十五日

場所 三島市箱根の里少年自然の家

八、家庭における読み聞かせ活動の普及

中部支部

支部長 ゆりかご保育園 神野博行

一、総会及び施設長研修会

期日 平成二十六年五月二十九日（木）

場所 静岡県総合社会福祉会館

講師 プランニング開代表

アトリエ自遊楽校主宰

演題 「子どもの可能性を切り開く
新田新一郎 氏
施設長の役割」

二、保育所職員研修会

期日 平成二十六年十月二十四日（金）

場所 静岡市立日本平動物園

演題 「五感を磨き、
高い感性の保育士を目指して」

三、中堅保育士研修会

期日 平成二十七年一月二十日（火）

場所 静岡県総合社会福祉会館

講師 あおぞらキンダーガーデン

演題 「『気になる子』と言わない保育」
園長 岡村由紀子 氏

四、新規採用予定職員研修会

期日 平成二十七年二月十八日・十九日

場所 静岡県立焼津青少年の家

五、各地区事業

各地区ごとの事業計画に基づいて実施

西部支部

支部長 ルンビニ保育園 岡田泰稔

一、総会及び施設長研修会（百二十六名参加）

期日 平成二十六年五月十三日（火）

場所 アクト音楽工房ホール

パネリスト 西部支部内各市町主管課担当者

テーマ「子ども・子育て支援新制度に向けて」

二、男性職員交流研修会（五十一名参加）

期日 平成二十六年八月一日（金）

場所 クリエート浜松

講師 掛川子ども園保育園部園長 野中徹 氏

演題 「男性保育士に求められているものとは」

三、施設長研修会（百五十二名参加）

期日 平成二十六年九月十六日（火）

場所 アクト音楽工房ホール

講師 保育研究所所長 村山祐一 氏

演題 「いよいよ始まる新制度にむけて
～新制度のメリットとデメリット～」

四、小児医療研修会（九十二名参加）

期日 平成二十六年十一月十一日（火）

場所 アクト音楽工房ホール

講師 子どもとメディア 古野陽一 氏

演題 「電子メディアと子どもの育ち」

五、西部青年部主催研修会（五十九名参加）

期日 平成二十六年十一月二十八日（金）

公開保育 西部支部内の五ヶ園

全体会場 アクト研修交流センター

六、新規採用予定職員研修会

期日 平成二十六年二月十八日・二十日

場所 静岡県立三ヶ日青年の家

予算対策委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

現在五百十八ヶ園で構成する静岡県保育所連合会として、質の高い保育の提供と、子ども達の安全と健やかな成長を保障し、心豊かな次世代を育成していくという使命達成のため、保育所がより一層充実した保育を展開できるように、次の八項目を県に要望致しました。

- ① 平成二十七年第五十六回関東ブロック保育研究大会の負担金について
- ② 食育の充実と推進について
- ③ 事務職員の常勤化について
- ④ 保育士等処遇改善臨時特例事業の恒久化について
- ⑤ 乳幼児保育事業の充実について
- ⑥ 産休等代替職員雇上事業の充実について
- ⑦ 0歳児入所サポート事業の継続について
- ⑧ 東海地震等大災害に対する安心・安全な施設の充実について

また国に対しましては、本連合会の上部団体である全国保育協議会、日本保育協会、全国私立保育園連盟を通じて保育制度の充実強化を要望しているところです。皆様方には「署名活動」並びに「保育向上活動対応協力金」にご協力頂き誠に有難うございました。

海外交流委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

本年度で第十九回目となった海外交流研修は、十一月十九日から二十三日までの五日間、二十七名の参加者を得てシンガポールを訪問しました。保育施設二ヶ所を見学し、又ECD A（未就学児・早期教育庁）の官僚と社会家庭開発省大臣政務官（国会議員）を交えて少子化対策についての意見交換を行い、有意義な研修となりました。来年度も引き続き海外交流研修を実施する予定ですので、多くの皆様のご参加を期待しています。

少子化等問題検討委員会

委員長 緑ヶ丘保育園 内藤栄一

子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費を助成する「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。この助成金を活用した地域子育て活動の展開を更に推進するとともに、財源となります協力金へのご支援をお願い致します。本年度の啓発品としては「クリアファイル」を作成し、民間園の皆様には十月三十日・三十一日に開催された民間園長研修会において配付致しました。公立園の皆様には一月二十二日に開催する「施設長研修会」において配付致しますので、本事業の趣旨をご理解の上協力賜われますようお願い致します。

研修委員会

委員長 桜木保育園 野中 徹

本年度の下期予定研修も、民間園長研修会、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。特に民間園長研修会では、例年以上に多くの方に参加していただきました。企画運営をする側としても非常に嬉しく思います。詳しい内容は、民間園長研修会の記事をご覧下さい。

さて、いよいよ平成二十七年より、子ども子育て新制度がスタートします。認定こども園への移行も、二十七年実施の園もあれば、今後検討していく園と対応も様々です。また、突然の衆議院の解散もあり、まだまだ新制度への情報は必要とされています。大きな変革の時を迎えますが、きちんと制度を理解し、今後子どもたちの最善の利益を守っていくような研修に取り組んでまいりますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会

平成二十七年一月二十二日（木）
清水テルサ

○新規採用予定職員研修会

平成二十七年二月中旬から下旬
（会場は各支部の研修会場にて）

～活動の報告と計画～

青年部会

部会長 なごみ保育園 志賀口大輔

部会としての活動二年目。研修活動、調査研究活動、同世代の情報交換・交流活動、県保連事業への応援活動、保育三団体等全国組織への参加を主な活動目的として取り組んでいます。

六月に開催した『第二回青年部研修会（次世代リーダー研修会）』では、保育システム研究所代表の吉田正幸氏を講師に迎え、まさに始まるうとしている新制度についての見識を深めることができました。

十一月二十八日（金）には、西部支部におきまして、公開保育が開催され五十名を超える皆さまに参加・好評を頂きました。公開して頂いた保育園は、桜木保育園（掛川市）、ながかみ保育園（浜松市東区）、なかよし第二保育園（浜松市中区）、曳馬保育園（浜松市中区）、なごみ保育園（浜松市北区）の五ヶ園です。今後は、中部支部、東部支部におきましても青年部研修会が予定されておりますので、ご案内の折には、是非ご参加頂きたいと思っています。

平成二十七年七月二・三日にグランシップにて開催されます『第五十六回 関東ブロック保育研究大会』をより一層盛り上げていく為、実行委員会をはじめとして青年部会あげて積極的に協力参加をさせていただきます。

広報委員会

委員長 相生保育園 吉野恵人

広報委員会は、年二回の機関紙「ほいく静岡」の編集・発行が主な活動です。各研修会専門委員会、各支部活動等の報告を行う他、その時の情勢に合わせて特集記事を掲載しています。今号は、県保連会長、県こども未来局長の年頭のあいさつ。また、児童家庭支援センターはるかげ、来年度、静岡市で実施される関東ブロック保育研究大会、そして法人税課税回避の要望活動等の記事を掲載いたしました。保育実践・研究・講座なども紹介し、少しでも皆様方のお役に立てる情報誌としていきたいと考えております。皆様方の積極的なご寄稿をお待ちしております。



保育園の理事長様・園長様へ

ご存知ですか？

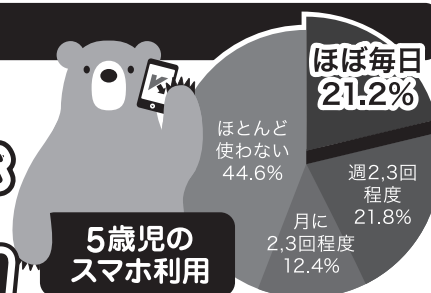
5歳児の20%以上が
スマホを毎日利用！

※全国の保護者1,000人以上に実施したアンケート結果(2014年10月現在・イーランチ調べ)

スマホ世代の保護者や若い保育者に聴かせたい！

子育てを考える教材DVDを無料配布

枚数
限定



- 幼児のスマホ・タブレット利用調査結果
- スマホのセキュリティ対策
- 家庭内でのルールづくり
- 幼児に利用させるときのモラル教育
- 保護者の利用における注意事項など

問合:054-626-8888 パステルIT新聞事務局 <http://sumaho-kosodate.com/>

さまざまな危険からお子さまをお守りする



『園児総合保障共済制度』

キッズカード(こども総合保険)

AIU損害保険株式会社

日々大きく成長されるお子さまたちの行動には
予測できないことも多く、何かとお心づかいの
ことと存じます。いつ、どこで何が起こるのか
予想もつかない事故の、確かな“まもり”とし
て本制度をお届けいたしております。

静岡支店 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1
水の森ビル5階
☎: 054-284-2781
浜松支店 〒430-0935 浜松市中区伝馬町312-32
浜松シティビル5階
☎: 053-454-0321
沼津支店 〒410-0801 沼津市大手町3-8-25 7階
☎: 055-963-8081

今、新たな感動を姿(かたち)にしたい

…幼な子とともに



株式会社 ジャクエツ

浜松店：

〒432-8021 浜松市中区佐鳴台1丁目13-5

TEL 053(453)0535

FAX 053(453)0777

静岡店：

〒422-8064 静岡市駿河区新川1-16-13

TEL 054(281)2271

FAX 054(281)2026

沼津店：

〒410-0822 沼津市下香貫
字下障子3141-2

TEL 055(932)3121

FAX 055(932)3122



**保育士
登録数 20,000名**

アスカグループは保育士さんの人材紹介・派遣会社です

保育士求人ポータルサイト

保育情報 どっとこむ

くわしくはwebで [保育情報どっとこむ](#) 

保育士の人材紹介・派遣

asuka アスカグループ

 0120-777-277



ココロ花咲く、ステキな旅を。

お客様満足度100%+αを追求するサービスマインド。

お客様の立場になる「想像力」、プラスアルファを創る「創造力」。

半世紀を超える実績と豊富な情報力を駆使して

高品質・高付加価値の商品とサービスを提供するトップツアー株式会社。

私たちは旅を通じて新しい出会いと感動を創出する

「旅行インテリジェンス企業」です。

出逢い、発見、そして感動。

トップツアー株式会社 静岡支店

観光庁長官登録旅行業第38号 © JATA正会員・ボンド保証会員

〒420-0859 静岡市葵区栄町3-1 あいおいニッセイ同和損保静岡第一ビル7F

TEL:054-255-1919 FAX:054-252-9509 <http://www.toptour.co.jp>

こどもの笑顔がみたいから

**安心・安全な
保育園用おやつ**



**全国の保育園から
お使い頂いています**



株式会社サンワールド

＜静岡支店＞〒421-0121 静岡市駿河区広野2-10-17

TEL054-256-6332 <http://www.sunworld-honsha.co.jp>

保育所事務処理の“作業効率化・正確化”を応援します！

社会福祉法人支援システム「創・ゆとり」シリーズ

操作はとっても簡単！

財務会計2015

「新会計基準」へまだ移行されていないお客様は、弊社まで是非お問合せ下さい。

給与計算2015

「給与実務カレンダー」「職員一覧入力画面」等、便利な機能を追加して生まれ変わった給与システムです！

給食管理システム

基本的な食品成分表はセット済み。栄養目標値に対する達成率や発注・仕入処理も可能なシステムです！



ISO9001・ISO27001認証 ITインテグレーター
株式会社 ユニテック

〒420-0911 静岡県葵区瀬名1丁目18-33 ユニテックビル
TEL:054-264-1111 FAX:054-264-7771

ホームページ www.unitec.jp メールアドレス eigyo@unitec.jp

緊急連絡網の準備はできていますか？携帯電話・パソコンへ斉メール配信 「携帯電話チェックインシステム」

緊急時、行事開催、一般連絡等の情報伝達が飛躍的に改善されます！
受信者のメール確認状況も把握できます！

園の紹介、情報開示は簡単便利なホームページで！ 「らくらく更新web」

苦情解決、事業報告、行事予定、写真(アルバム)等の
情報公開、情報更新が園のパソコンで簡単にできます！



株式会社 **データサービスセンター**

〒411-0912 駿東郡清水町卸団地63-2(沼津卸商社センター内)

Tel:055-972-7717 <http://www.dataeast.co.jp>

Fax:055-972-0969 E-mail:h-sanada@dataeast.co.jp



三島市 白道保育園 土山雅之
いよいよ静岡県担当の関プロが七月に迫ってきました。気合いを入れて頑張ります。

沼津市 いずみ保育園 十八公淨滋
今年もいろいろと経験させていたいただきました。ありがとうございます。

沼津市 原町保育園 鶴谷由美子
頼りない広報委員でしたが、なんと来年も携わることになりました。宜しくお願いします。

静岡市 日影保育園 浅井哲朗
二年間楽しく仕事をさせてもらいました。ありがとうございました。

静岡市 相生保育園 吉野恵人
何回やっても、原稿を書くのは、苦労の連続です。少しは成長したいです。

静岡市 麻機保育園 鈴木克明
取材をし、見て聞いた事を正確に文字にする事の難しさを痛感しています。

静岡市 ゆりかご保育園 神野博行
二年間、お世話になりました。

島田市 くりのみ保育園 栗原亜佐子
この二年間、勉強になりました。充実した時間をありがとうございました。

袋井市 ルンビニ保育園 岡田泰稔
今日も、『キャベカツ』たいへん美味しく頂きました。ご馳走様でした。

浜松市 入野保育園 中村勝彦
今回はあまり参加できなくて、ご迷惑をおかけしました。次号からは…。

浜松市 はあもにい保育園 東山和樹
毎回ぶらんこの取材では多くのことを学ばせて頂きます。皆さん是非広報委員に！

すべての人が
子どもと子育てに
関わりを持つ
社会の実現を
めざして……
静岡でお待ちしております。

写真提供／静岡県観光協会

第56回

関東ブロック保育研究大会

平成27年 **7/2** 木 ～ **3** 金

グランシップ大ホール・海&会議室



「ほいく静岡」原稿写真募集中

保育実践・研究の紹介や育児相談・講座の紹介など奮ってご寄稿下さい。
ホームページ： www.hoiku-shizuoka.org



投稿先 静岡県保育所連合会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1番70号
TEL / FAX : 054-251-8873